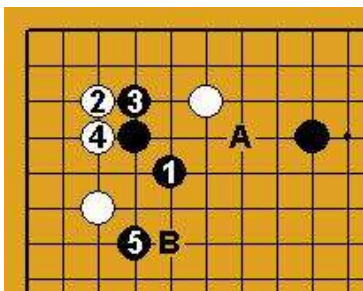


ケイマ両ガカリ 1

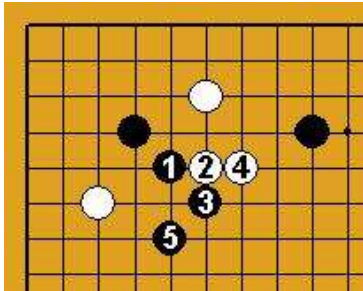


参考図 1

まずコスミを検討します。図のように白は②と三々に入ってくるのが最善。③のほうからオサエて④です。なるほどこの図は三々に入られてアマイし、①の位置がユルんでいます（一路左にあればよいのですが）。しかしなぜ打たれるかと言えば次の⑤ケイマガケが絶好だからです。このコスミからケイマガケは中盤でもよく使われます。これを A とこちらにケイマガケしり B と一ケントビしたりすると①が泣きます。さて、この図はなぜか実戦では見られませんが。この一路の差が模様を張る場合は大きいのですが。模様を張るのは大風呂敷でないといけません。囲われると大きいし入って行くと攻められる、でないといけません。図ですと、白は動き出してきませ

ん。上から横から消してくるでしょう。③の上先手

ハネツギもあります。大きい黒地は望めません。

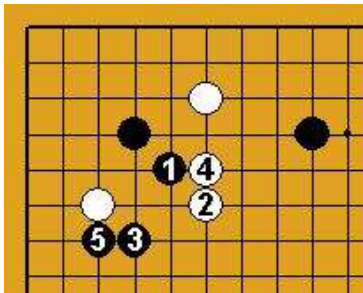


参考図 2

白は周囲の状況によっては（参考図 2）や（参考図

3）と過激にやってくるかも知れません。しかし

ずれも白が無理気味です。これなら黒は歓迎です。



参考図 3